

次期プランの策定について

令和4年10月31日

福島県病院局

1 現状

現在、県立病院経営の指針としている「ふくしま県立病院事業改革プラン」は令和5年度末で計画終期を迎え、次期プランの策定指針となる総務省ガイドライン（公立病院経営強化ガイドライン）も令和4年3月に改定されたことから、令和6年度以降の新たな指針として「次期プラン」の策定が必要となる。

2 公立病院経営強化ガイドラインのポイント

- （1）役割・機能の最適化と連携の強化
 - 各公立病院の役割・機能を明確化、最適化し、連携を強化する。
- （2）医師・看護師等の確保と働き方改革
 - 令和6年度（2024年度）から医師の働き方改革として、医師の時間外労働規制への対応が必要となる。
- （3）新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
 - 感染拡大時に活用しやすい病床等の整備など、平時からの取組が必要。

3 策定方針

- （1）策定期間及び計画期間
 - 令和6年度～令和9年度（4年間）を計画期間とする「次期プラン」を令和5年度末までに策定する。
- （2）内容
 - 「ふくしま県立病院事業改革プラン」における各種取組の進捗状況や、「公立病院経営強化ガイドライン」の内容を踏まえ、持続可能な地域医療提供体制の確保の観点から、県立病院事業が目指すべき方向性を改めて設定。
 - 県立病院の持続的かつ健全な経営、医療の質の確保等の観点から、令和4年度までの決算、各病院の患者数の動向等を踏まえて令和6年度以降における各種数値目標等を設定。